

スポーツ競技歴調査書

氏名 _____

〔主要な経歴〕

No.	競技種目	主催者・連盟	所属名	プロチームの在籍期間 実業団での競技期間
例	野球	(一社) 日本野球機構	立教ベースボールクラブ	2018年2月 ～2021年1月
例	野球	(一社) 日本独立リーグ野球機構	立教野球チーム	2022年2月 ～2023年1月
1				
2				
3				

●出願条件3における経歴を記入してください。

※複数の経歴がある場合には、アピールしたい順に3つまで記入してください。

※複数の経歴がある場合、合算して3年以上の経歴があれば出願条件を満たします。

(上欄のみで3年以上の経歴を証明できない場合は、下部の余白に残りの経歴を記入してください。)

※3年以上の経歴を証明できる資料については、別紙「競技実績証明資料」に必ず付けてください。

●競技実績については、志願者氏名、競技種目名、大会名、順位を証明する客観的な資料を別紙「競技実績証明資料」に必ず付けてください。経歴ごとに競技実績証明資料を提出してください。

●「主催者・連盟」「所属名」の欄は、略さずに正式名称を記入してください。

●順位がない場合は、「競技実績証明資料」にて、出場者数や入賞者数等の詳細を資料として付けてください。

●出場予定など、出願書類提出時点で大会の結果が出ていない場合は競技実績として記載できません。

●出願資格や競技実績などの立証責任は志願者本人にあり、本調査書のみを用いて競技歴評価が行われます。必要書類の不足や証明内容の不備がないよう、十分注意してください。

競技実績証明資料

フリガナ	
氏名	

No.	所属名	スポーツ競技歴調査書に記載した No.及び出場大会名を左欄に記入してください。
-----	-----	---

「スポーツ競技歴調査書」に記載した経歴を証明する

客観的な資料を上部2か所でホチキス留めしてください。

【作成にあたっての注意事項】

- ①「スポーツ競技歴調査書」で記入した「主要な経歴」において、1枚目に経歴（「プロチームの在籍期間」や「実業団での競技期間」を証明する資料）、2枚目以降に志願者氏名、競技種目名、大会名、順位等を証明する客観的資料のコピーをホチキス留めしてください。
例：賞状、公式記録、新聞記事、雑誌記事、インターネット記事、大会要項
※手元に関係資料がない場合は、自身で競技団体または連盟に問い合わせをし、資料を取り寄せてください。
- ②団体競技の場合は個人名の特定ができる資料を必ず付けてください。
- ③1つの経歴に関して複数枚の資料がある場合は、複数枚が関連付いていることを分かるようにしてください（例：同一の大会名が入っている、同一の日付が入っている等）。また資料すべてを閲覧できる形で（めくれるように）ホチキス留めしてください。
- ④資料が取れないようにしっかりとホチキス留めしてください。賞状等は A4 判用紙にコピーしてください。
- ⑤新聞記事、雑誌記事等からコピーをする場合はコピー元の新聞名、雑誌名を余白に記入してください。また、新聞の場合は必ず日付が分かるように貼付もしくは日付を記入してください。
- ⑥競技団体ウェブサイト等のインターネットからプリントアウトする場合は個人名、競技名、大会名、順位等が分かるようにプリントアウトし、URL をあわせて記載してください。
- ⑦本人の証明内容記載部分には赤ペンでアンダーラインを引くなどして、分かりやすい資料をご提出ください。
- ⑧日本代表（年齢別含む）として試合に出場経験がある場合は、それを証明する個人名の入った資料をあわせてご提出ください。
- ⑨VTR や CD-ROM、USB メモリ等の磁気・電子媒体による資料を提出する場合は、出願書類に同封してください（提出された資料はいかなる理由があっても返却いたしません）。
- ⑩評価基準に関する問合せには一切お答えできません。
- ⑪必ず当該年度の様式を使用してください。
- ⑫出願資格や競技実績などの立証責任は、志願者本人にあります。よって、必要書類の不足や証明内容の不備がないよう、十分に注意してください。